

●収益の状況

貸出金利息収入が88百万円増加したことで、物件費の削減等で経費が88百万円減少したこと等により、本業の利益を表すコア業務純益は8百万円増加しました。

経常利益は、前年同期比1億13百万円増加し、5億2百万円となり、中間純利益は、前年同期比50百万円増加し、3億63百万円となりました。

○損益状況と総与信費用の推移 (単位：百万円)

	平成27年9月期	平成28年9月期	平成29年9月期
経常利益	640	389	502
中間純利益	433	312	363
コア業務純益	255	377	385
総与信費用	△122	46	△11

※コア業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券損益
※総与信費用＝不良債権処理額＋一般貸倒引当金繰入額

●預金・預り資産・貸出金の状況

預金につきましては、公金預金等が増加したことにより、前年同期比71億94百万円増加し、2,326億25百万円となりました。

預り資産につきましては、前年同期比17億20百万円減少し、356億62百万円となりました。

貸出金につきましては、不動産業・物品賃貸業向け貸出が増加したことにより、前年同期比10億99百万円増加し、1,824億84百万円となりました。

○預金、個人預金及び預り資産残高の推移 (単位：億円)

	平成27年9月期	平成28年9月期	平成29年9月期
預金	2,247	2,254	2,326
個人預金	1,653	1,624	1,643
預り資産	370	373	356

○貸出金及び佐賀県内向け貸出金の推移 (単位：億円)

	平成27年9月期	平成28年9月期	平成29年9月期
貸出金	1,796	1,813	1,824
佐賀県内向け貸出金	1,418	1,399	1,375

●自己資本比率の状況（国内基準）

平成29年9月期における自己資本比率は7.98%となりました。

自己資本比率は、国内基準で必要とされている4%を大幅に上回る水準を長年に亘り維持しており、経営の健全性は高く、安心してお取引いただける水準にあります。

当行は、今後とも財務基盤の強化に努めてまいります。

○自己資本比率の推移 (単位：%)

	平成27年9月期	平成28年9月期	平成29年9月期
自己資本比率（国内基準）	8.83%	8.23%	7.98%

※自己資本比率とは総資産に対する自己資本（資本金や引当金等）の割合を示すもので、金融機関の財務内容の健全性を判断する重要な指標となっています。当行のように海外に営業拠点を持たない銀行は4%以上（国内基準）を維持することが義務づけられています。

●不良債権の状況

当行は、「地域と共に栄える銀行」を経営理念としており、地域経済への貢献に重点を置いて、取引先企業の経営改善及び再生支援に注力するとともに、不良債権の圧縮に努めております。

平成29年9月末の不良債権（金融再生法開示債権）残高は、63億91百万円であり、総与信に対する割合は3.48%です。不良債権（金融再生法開示債権）残高の内89.68%は貸倒引当金や担保等でカバーされております。

○金融再生法に基づく開示基準による資産内容 (単位：百万円)

	平成29年9月期				
	債権残高 A	担保等による 保全額B	貸倒引当金 C	保全額 D=B+C	保全率（%） D/A
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,467	683	784	1,467	100.00
危険債権	4,397	2,558	1,369	3,927	89.31
要管理債権	526	261	75	337	64.04
合計	6,391	3,503	2,229	5,732	89.68

○不良債権（金融再生法開示債権）の推移

（単位：百万円）

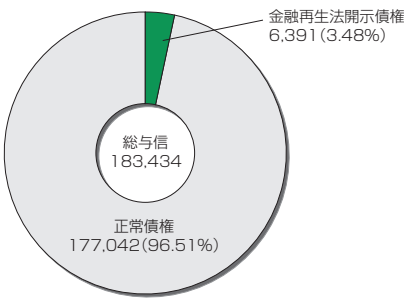
	平成27年9月期	平成28年9月期	平成29年9月期
金融再生法開示債権残高	8,769	7,620	6,391
金融再生法開示債権比率	4.85%	4.18%	3.48%

金融再生法に基づく開示基準の概要

- 総与信……………貸出金、外国為替、支払承諾見返、未収利息、仮払金、貸付有価証券
- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権…経営が破綻した取引先への債権
- 危険債権……………経営状態が悪化し、経営は破綻していないまでも約定どおりに返済できない可能性が高い取引先への債権
- 要管理債権……………元金または利息の支払が3ヵ月以上遅れている貸出金と、貸出条件を緩和している債権（上記2債権を除く）

○総与信に占める金融再生法開示債権の残高と比率

（単位：百万円）



※記載金額、比率は、単位未満を切り捨てて表示しております。

●当行の最近3中間期及び最近2事業年度に係る主要な経営指標等の推移

（単位：百万円）

項 目	平成27年9月期	平成28年9月期	平成29年9月期	平成28年3月期	平成29年3月期
経 常 収 益	3,106	2,741	2,741	6,003	5,515
経 常 利 益	640	389	502	1,013	585
中間（当期）純利益	433	312	363	642	492
資 本 金 （発行済株式総数）	2,679 (22,034千株)	2,679 (22,034千株)	2,679 (22,034千株)	2,679 (22,034千株)	2,679 (22,034千株)
純 資 産 額	13,015	13,569	14,152	13,771	14,211
総 資 産 額	252,959	260,109	264,419	257,436	257,185
預 金 残 高	224,707	225,430	232,625	219,842	224,139
貸 出 金 残 高	179,699	181,384	182,484	182,480	180,802
有 価 証 券 残 高	60,395	56,330	62,017	57,128	59,381
1株当たり中間純利益金額	19.78円	14.27円	16.59円	—	—
1株当たり当期純利益金額	—	—	—	29.31円	22.48円
潜在株式調整後 1株当たり中間純利益金額	—	—	—	—	—
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	—	—	—	—	—
1株当たり配当額	3.00円	3.00円	3.00円	6.00円	6.00円
従 業 員 数 [外、平均臨時従業員数]	416人 [52人]	383人 [53人]	345人 [60人]	393人 [53人]	358人 [56人]
自 己 資 本 比 率	5.14%	5.21%	5.35%	5.34%	5.52%
単体自己資本比率（国内基準）	8.83%	8.23%	7.98%	8.12%	8.19%
営 業 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	1,648	4,574	5,525	3,416	1,029
投 資 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	589	172	△2,818	4,503	△2,170
財 務 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	△66	△68	△69	△933	△135
現金及び現金同等物の 中間期末（期末）残高	11,909	21,401	18,085	16,723	15,446

（注）1. 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。
2. 自己資本比率は、（中間）期末純資産の部の合計を（中間）期末資産の部の合計で算出しております。
3. 単体自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づく平成18年金融庁告示第19号に定められた算式に基づき算出しております。
当行は国内基準を採用しております。
4. 潜在株式調整後1株当たり中間（当期）純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。
5. 従業員数は、就業人員数を表示しております。

●平成29年度に行った施策

◆地域活性化への取り組み

・各自治体との「まち・ひと・しごと創生に関する連携協定」の締結

各自治体との連携協定締結により、地域経済の持続的な発展および地域の活性化に向け、当行が持つ地域経済に関する知見やノウハウを活かしながら、各自治体と連携して取り組んでおります。

また、みやき町は当行、公益財団法人佐賀未来創造基金、一般社団法人市民生活パートナーズの3者で運営しているクラウドファンディングの普及および利活用促進支援を行う、「クラウドファンディング活用サポートセンター佐賀（略称：クラウドSaga）」推進会議へ参画されました。なお、クラウドSagaへの参画を表明された自治体は、佐賀県内で初めてです。（連携協定を締結している自治体（締結順）：鹿島市、佐賀市、唐津市、武雄市、小城市、鳥栖市、神崎市、多久市、みやき町）

・「地方創生『食の魅力』発見商談会2017」の開催

平成29年6月28日、TRC東京流通センターで開催された「地方創生『食の魅力』発見商談会2017」（第二地方銀行協会加盟行およびリッキービジネスソリューション(株)が主催）に当行取引先8社が参加されました。

本商談会は、「地域の食品」を扱う地元企業にスポットを当て、広域の食関連産業の育成と発展、地域経済の活性化を支援することを目的としています。当日は、日本全国から約250社が出展し、食品バイヤーとのマッチングを図る「事前予約制個別商談会・フリー商談会」を実施いたしました。

◆地域のお客さまへの取り組み

・「経営者セミナー」の開催

平成29年6月より毎月1回、当行が外部提携している株式会社エフアンドエム様と共催で、「経営者セミナー ～地方創生時代の経営者支援施策の活用法～」を開催しています。セミナーでは「勝ち残る中小企業の3項目」と題して株式会社エフアンドエム様に講演いただいている他、佐賀県や開催地の各自治体・商工団体の中小企業支援施策の紹介並びに当行ソリューション営業グループの取組施策の紹介をしております。

・「きょうぎん未来基金」助成金の贈呈

平成28年10月から平成29年2月までに販売した～白石支店新築移転オープン記念～「きょうぎん未来定期預金」にお預け入れいただいた総額に一定割合を乗じた金額を助成金として、公益財団法人佐賀未来創造基金を通じて、県内の様々な分野の社会貢献活動を行う団体に贈呈いたしました。

◆お客さまの利便性向上への取り組み

・現金自動預払機（ＡＴＭ）の新設

平成29年10月19日、イオンスーパーセンター佐賀店に新しくATMを設置いたしました。

平日および土日祝日の9：00～22：00まで営業しております。

・ATMコーナーの営業時間延長

お客さまの利便性向上を目的に、店舗内および店舗外ATMコーナーの営業時間を延長いたしました。

◇店舗内ATMコーナー

対象店舗		延長後の営業時間	
		平日	土日祝日
本店営業部	江見支店	8：00～21：00	
神野支店	佐大通り支店		
小城支店	若宮支店		
鳥栖支店	兵庫支店		

◇店舗外ATMコーナー

対象店舗		延長後の営業時間	
		平日	土日祝日
ゆめマートさが	アルタ高木瀬店	9：00～22：00	
アルタゆめ咲いちば			
ゆめタウン佐賀	西九州大学	10：00～22：00	
西九州大学		9：00～21：00	非稼働

・自動貸金庫新規ご契約キャンペーン

平成30年3月31日まで「自動貸金庫新規ご契約キャンペーン」を実施しております。本キャンペーン期間中に鳥栖支店および佐大通り支店に設置の自動貸金庫を新規でご契約いただいた場合、割引使用料にてご利用いただけます。（※平成30年度より、すでに自動貸金庫をご契約中のお客さまについても同様の引き下げを予定しております）